施策体系図案

※主な変更点を赤文字で記載

※「誰が元気になるのか」列は第2回検討協議会を踏まえ削除

今後の方向性					施策体系図案
何が変わるのか	中間報告資料p199（一部更新）		中間報告資料p198（一部更新）		
			関連要素	既存取組	
学びの改革	挑戦と実践を通じた学びの充実	学びを通じ、自己肯定感や将来への期待感を高める	自己肯定感・将来への期待感の低さ 学力、図書貸出数が低い水準	地元企業と協力したプログラム提供 など	**挑戦と実践を通じた学びの充実** ①基礎学力の定着を土台としつつ、実社会とつながる挑戦と実践の機会の充実を進める ②多様な主体とのつながりの中で学びを深める取組を通じて、主体的に課題解決に取り組む力の育成につなげる
学びの改革	多様なニーズに対応した個別最適な学びの推進	誰一人取り残さない環境で、個人にあった成長の機会がある	個々に応じた学びへの対応 日本語指導が必要な児童生徒増加 不登校への対応	学力学習状況調査を踏まえた重点取組 つれづれ教室 校内教育支援ルーム スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーなど専門職との連携 など	**多様なニーズに対応した個別最適な学びの推進** ①すべての子どもが学びにアクセスできるよう、これまでの教育施策により培われてきた強みも生かしながら、個々の状況や特性に応じた柔軟な学習機会の充実を進める ②多様な学びの場や支援の充実と、一人ひとりの関心や強みを伸ばす取組を通じて、誰一人取り残さない学びの実現と可能性の発揮につなげる
支える仕組みの改革	デジタルとアナログの共生による 教育運営の高度化	教育の質向上をめざしつつ、教員も高い意欲を持てる環境を作る	教育の効率化・最適化を進めつつ教育の質向上に繋げる 外部連携	校務DX TAKAISHIスタイル・AIドリル 介助員、学力向上支援員、ICT支援員、スクールロイヤーなど専門職の配置 など	**デジタルとアナログの共生による教育運営の高度化** ①校務の効率化等のデジタル技術の活用を進めるとともに、対面での関わりや現場の知見といったアナログの強みも生かした教育運営の高度化を図る ②デジタルとアナログそれぞれの特性を生かした取組を通じて、教職員が教育活動に専念できる環境の実現つなげる
支える仕組みの改革	地域全体で支える教育体制の構築	地域等と一体になったチーム学校の体制で多様な学びと一人ひとりの子どもの成長を支える	多様化するニーズへの対応	地域教育協議会 学校評議員 など	**地域全体で支える教育体制の構築** ①役割分担の見直しや地域の協力を含めた体制づくりを進め、教職員が教育活動に専念できる環境の整備を図る ②こうした取組を通じて、子どもと向き合う時間の充実やきめ細かな指導の実現につなげ、子どもの学びの充実や教職員の成長の実感につなげる
学校空間の改革	安心して過ごせる、 多様な想いを反映した学校づくり	取り組みシーンに合わせた最適な空間構築がなされている	大規模な改築更新時期 アンケートでの多様な意見	既存取り組みはなし	**安心して過ごせる、多様な想いを反映した学校づくり** ①学習形態や活動内容に応じた柔軟な空間づくりや施設整備を進め、子どもや教職員、地域の多様なニーズを反映した学校環境の整備を図る ②空間の特性を生かした学びの場づくりを通じて、主体的・協働的な学びや多様な活動の充実を図り、生涯にわたって学び続ける力を育む環境づくりにつなげる
学校空間の改革	まちを元気にする学校	市民も利用でき、多様なつながりを生む拠点として活用されている	学校施設を活用した地域コミュニティー形成や地域活性化 地域・連携 幼小中連携	学校開放事業 幼小中連携事業 など	**まちを元気にする学校** ①学校施設の活用を通じて、学習・交流・活動の場として地域に開かれた学校づくりを進める ②子どもたちが多様な人や社会と関わる機会を創出し、地域をはじめ国内外へつながる視点と、挑戦と実践の機会の充実を図るとともに、その取組を通じて新たな学びや活動を生み出し、子ども・教職員・地域に活力を創出する